



私のひとりごと

「憧れの名車」

春うらら…。桜も満開になり、何となく気も緩みがちな今日この頃である。この時期になると、私に一つの病気が出だす。「ああ～…車がほしい！」と、無性に車が欲しくなるのである。それも普通の車には全く興味もなく、ただただ、スポーツカーが欲しいのである。フェラーリ・ランボルギーニ・ポルシェをはじめ、国産ではホンダNSXと車好きの方なら、一度は所有してみたい名車である。お値段は家と同じくらい、もしくは家よりもはるかに高く、当然私には買えるはずもない。また国産の旧車で、スカイラインGTR・フェアレディ240Zなど、私たちの年代では憧れの名車がある。製造されて約半世紀にもなるが、プレミアムでお値段は1千万を超えている。



【乗り手を選ぶというのもカッコ良さなんですよね】

過去に、どうしても欲しくて家内に相談したら「私が死んでから買って！」と言われ今日に至っている。それでも諦めきれず、仕事を終えた後、ネットで中古車情報の検索を始める。だいたい3時間ぐらい見ていると、すっかり買った気分になり満足しだす。というよりも、疲れ果て車もどうでもよくなってくるのだ。それでも一晩寝れば、また欲しくなりネットを見る行動が夜な夜な続くのである。もはや病気と言わず何と云うのだろうか…。

この病気はだいたい5月頃まで続く。そんな理由で、幸か不幸かここ数十年乗用車を所有したことがない。なので、この時期の私は、会社の軽トラ（スポーツカーと同じく2シーター）で、スポーツカーのエンジン音を口ずさみながら走ることを楽しんでいる変なおジサンとなっている。

ところが最近、そんな楽しみ方もしていられない状況になってきた。孫の保育園のお迎えや子守で、乗用車が必要となった。可愛い孫のためでもあるので、いざ乗用車を買おうと思いきや、普通の乗用車でも3～4百万するではないか…。価値観の違いであると思われるが、私は今日までスポーツカーにこだわり、十数年も乗用車を買うのをためらってきた男である。スポーツカー以外の車なら、ただ走れば良いと思っている。正確に言えば移動する道具にすぎず、軽トラでもバンでも十分に事は足りるのである。どうしても必要な時は、レンタカーを借りれば済む。しかも我が家の駐車場は狭くて、軽かコンパクトカーに限定され、ますます心ときめく乗用車にめぐり合えない。心ときめかない車に、とてもお金を出す気にはなれないのである。そんな折、娘が車を買って替えるという。ホンダフィットに10年も乗っていたが、走行距離も多く下取りが6万ほどしかなく、「クルマ買わん？」と私に言ってきた。「え！6万もするんかい！タダでくれ。」と言え、「何ケチなこと言うてるん！」と一括される。確かにケチな話であるが、私的には、欲しい車でもないのに「6万も出すんかい！」という話である。横から家内が「お父さん、高く買ってあげたら」との一言に黙り込んだが…。私にとって乗用車に乗ることは、十数年来、想い続けた夢を諦めるのと同じである…。

どうやらこの先、春なのに心がウキウキすることがなくなるかもしれないなあ～…。

ではまた来月もお会いしましょう。
今月も最後まで読んでいただき…、

あーがし
ごさいました!!

